

第 30 回日本ホスピス・在宅ケア研究会
全国大会 in 仙台（仙台大会）

開催趣意書

募集要項

- 会 期 : 令和5年10月28日(土)~29日(日)
- 会 場 : 仙台市戦災復興記念館（仙台市青葉区大町 2-12-1）
- 大会長 : 谷山洋三（東北大学大学院文学研究科教授）
- 大会 HP : <http://jshh.jimdosite.com/>

ご挨拶

日本ホスピス・在宅ケア研究会は、がん、認知症や難病などによる終末期のあらゆる諸像にも焦点をあて、在宅ケアや高齢者の介護問題など、市民にとって切実な問題の解決に取り組み、提言します。医療に関係する倫理的問題についても研究、提言しています。

特定の思想・信条・権威に偏らず、集う人々の多様で自由な発想に基づいて運営しており、医療専門職はもとより、介護職・患者・市民・教育者・メディア・宗教家・関連分野の研究者など、全国の様々な立場の方々が参加しています。この目的に賛同する地域において、日々の活動の発展のためネットワーク作りなどのために、年1回全国規模の研究大会を開催しています。

ホスピス・在宅ケアの世界的な流れの中では、compassionate community という言葉がキーワードになっていますが、今回はこの言葉を“情げぶけえ” コミュニティと表現してみました。情のあつい地域、繋がりあう地域ということは、専門職中心のコミュニティではなく、市民中心の、当事者中心のコミュニティ、一人一人を大切にする地域を目指すということです。

死を避けることができないのであれば、せめて安楽に、なるべく嫌な思いをしないように、自分のわがままを通すことができるように、ささやかでも幸せな時間を過ごせるように、準備することもできます。そのような準備には、死を迎える本人だけでなく、家族、友人、専門職やボランティアなど、さまざまな人の存在や社会の仕組みを知ることが必要です。人生の最期の数年間、数ヶ月間を、どこで、誰と、どのように、生きていくのか。そして、どのようにして、助け合って、幸せに、過ごしていくのか、みなさんと一緒に考え、実現できる社会を目指しています。

会場の仙台市戦災復興記念館は、太平洋戦争で空襲を受けた仙台市の復興を記録してきた施設でもあり、昨年12月にリニューアル工事を終えたばかりの「平和の殿堂」です。空襲、震災、コロナといった災害からの復興を祈念するに相応しい場所だと思います。対面での開催に加えて、後日オンデマンド配信でも各企画を視聴することができます。多くの参加者をお迎えし、充実した企画を実施できるよう、ぜひともご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

なお、貴社・貴団体の透明性指針に基づき、研究会への寄附・共催費用について公開されることを承諾します。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和5年2月20日

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会
全国大会 in 仙台 大会長 谷山 洋三

大会概要

1. 大会名

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会 全国大会 in 仙台
(第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会)

2. 主催

特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会
〒652-0035 神戸市兵庫区西多聞通1丁目3-30-402
電話番号：078-335-8668
メールアドレス：kobe@hospice.jp
ホームページ：https://nichihos-web-1.jimdosite.com

3. 実行委員会 (令和5年2月19日現在)

大会長 谷山洋三 (東北大学大学院文学研究科・教授)
実行委員長 三浦正悦 (穂波の郷クリニック・院長)
副実行委員長 大石春美 (緩和ケア支援センターはるか・センター長)
実行委員 井上 彰 (東北大学病院緩和ケアセンター・医長)
今野まゆみ (ホームホスピスにじいろのいえ・代表)
鈴木 聡 (石巻赤十字病院・副院長)
高橋悦堂 (栗原市普門寺・副住職)
竹之内裕文 (静岡大学未来社会デザイン機構・副機構長)
田代志門 (東北大学大学院文学研究科・准教授)
星野 彰 (岩手県立中部病院緩和ケア病棟・医長)
千葉明日香 (仙台往診クリニック・副院長)
佐藤悠子 (岡部医院仙台・医師)
玉井照枝 (アンダンチ・世話焼きおばちゃん)
日向園恵 (石巻赤十字病院・看護師)
穀田知秋 (東北大学病院・看護師)
三宅績 (アイン薬局古川店・薬剤師)
塩野崎淳子 (むらた日帰り外科手術クリニック・在宅栄養専門管理栄養士)
伊藤清世 (ないとうクリニック・在宅訪問管理栄養士)
伊藤明日香 (若林クリニック・看護師)
遠藤正浩 (特別養護老人ホームみろく苑・介護員)
吉田香織 (居宅介護支援事業所「ここに幸あり」・所長)

4. 会期

2023年（令和5年）10月28日（土） 12：30～17：30

10月29日（日） 9：00～15：30

5. 会場

仙台市戦災復興記念館（仙台市青葉区大町 2-12-1）

6. 開催計画

1) 大会テーマ

おらぁ、ここで最期までいぎてえ

——“情げぶけえ”コミュニティをめざして——

2) プログラム構成

基調講演	アラン・ケレハー（米国バーモント大学臨床教授）
ワークショップ	エマ・ホッジス（Compassionate Community UK 開発担当理事） 堀田聡子（慶應義塾大学教授）、竹之内裕文（静岡大学教授）
死生学カフェ	竹之内裕文（静岡大学教授）
メインシンポジウム	「東日本大震災から12年 ～未来に向けて伝えたいこと」 （対談）いとうせいこう（作家）& 瀬尾夏美（アーティスト） パネルディスカッション
市民公開講座	「ホームホスピス」 市原美穂（全国ホームホスピス協会理事長） 今野まゆみ（ホームホスピスにじいろのいえ代表）
特別シンポジウム	「岡部健医師のレガシー」
その他	コロナ禍による面会制限、ソーシャルワーカー、薬剤師、リハビリ、音楽療法、食支援、排泄、ACPに関わる企画、コミュニティケア部会、市民部会、ホスピスボランティア部会、認知症ケア部会、スピリチュアルケア部会、グリーフケア部会、被災者支援ネットワーク事業、世界ホスピス・緩和ケアデー、カラフルカフェ、暮らしの保健室、口演発表など

3) 参加費等

事前登録 会員 4,000円 非会員 6,000円

当日参加 会員 5,000円 非会員 7,000円

※学生（大学院生を除く）2,000円 高校生以下無料

市民公開講座（10/29 午後）は参加費無料

懇親会 7,000 円

4) 参加予定数 1,000 名 (オンライン参加者を含む)

参加者は、医療・介護従事者、患者、家族、市民、教育者、宗教家、
関連分野の研究者など、さまざまな立場の方々

7. 共催・名義後援団体一覧 (令和 5 年 2 月 19 日現在)

共催： 公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団 (申請中)

東北大学大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野

後援： 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県医師会、
岩手県医師会、仙台市医師会、大崎市医師会、宮城県看護協会、
宮城県薬剤師会、全国ホームホスピス協会、宮城県ケアマネージャー協会、
宮城県医療ソーシャルワーカー協会(内定)、宮城県作業療法士会、
宮城県社会福祉協議会、大崎市社会福祉協議会、おおさき創造研究会、
在宅医療ソーシャルワーカー応援隊、地域緩和ケアあったかネット、
宮城県介護福祉士会、日本臨床宗教師会、大崎タイムス、河北新報社
(以下申請中) 厚生労働省、山形県医師会、福島県医師会、宮城県歯科医師会、
宮城県理学療法士会、言語聴覚士会、日本認知症グループホーム協会宮城支部、
宮城県栄養士会

8. その他

研究会名、協賛金等の金額は協賛企業等のウェブサイト上で公開されることに
同意する

9. 実行委員会事務局

1) 仙台事務局

東北大学大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野内

担当：谷山洋三、石井祐晃、川崎磨美、月原登美子

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

電話番号：090-7768-7953

メールアドレス：jshh30.sendai@gmail.com

2) 大崎事務局

穂波の郷クリニック内

担当：三浦正悦、大石春美

〒989-6136 大崎市古川穂波 6 丁目 30-12

電話番号：0229-24-3880

収支予算案

<収入>

費目	金額 (円)	備考
参加費	5,400,000	会員 300 名×4000 円、非会員 700 名×6000 円
懇親会費	1,750,000	250 名×7000 円
本部準備金	1,000,000	本部より (要返金)
助成金	1,000,000	勇美記念財団
抄録集売り上げ	700,000	非会員 700 名×1000 円
協賛金・寄付金	1,000,000	協賛団体 (HP 広告掲載、個人寄付)
広告料・展示料	1,000,000	協賛団体 (抄録集広告、会場出展展示)
	11,850,000	

<支出>

費目	金額 (円)	備考
会場費	600,000	仙台市戦災復興記念館
講師謝礼	2,500,000	謝礼・旅費
抄録集	1,280,000	会員 800 名×800 円、非会員 800 名×800 円
印刷費	920,000	チラシ、参加証など
懇親会費	1,750,000	250 名×7000 円
事務局運営費	1,800,000	人件費、決裁手数料、郵送費、通信費、消耗品費等
業務委託費	2,000,000	HP、機材レンタル、収録配信等
本部へ返金	1,000,000	(本部準備金)
	11,850,000	

協賛金・寄付金募集要項

1. 寄付の名称

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会

2. 寄付の目的

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会開催経費

3. 寄付目標額

1,000,000円

4. 募集期間

2023年6月30日（金）まで

5. 寄付金申込方法

(A) 大会ホームページへの広告や氏名の掲載のご希望がある場合

寄付申込書に必要事項を明記の上、事務局までご提出ください。

(B) 広告や氏名の掲載を希望しない場合

できるだけメールにてお名前、寄付金額、振込日をお知らせください。

なお、本会では寄付に対する免税措置は取っておりませんので、予めご了承ください。

6. 寄付金振込先

銀行名： 東北銀行 南古川支店

口座番号： 普通 5028954

口座名義： 日本ホスピス在宅ケア研究会 仙台大会

【お申込み、お問合せ先】

(大崎事務局) コミュニティハウスはるか未来館 内

担当：大石春美

住所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波6-30-12 FAX 0229-25-5812

仙台大会実行委員会メールアドレス jshh30.sendai@gmail.com

お問い合わせは TEL 0229-25-5811 (副実行委員長 大石春美)

抄録集広告募集要項

1. 掲載媒体

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会 抄録集（紙媒体）

大会終了後に参加申込をしたオンデマンド配信視聴者にはPDF版を配付

- (1) 大きさ A4サイズ（一部カラー）
- (2) 印刷部数 約1600部
- (3) 配付対象 日本ホスピス・在宅ケア研究会会員
第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会参加者
- (4) 抄録集作成費 1,280,000円
- (5) 広告料総額 700,000円

2. 広告原稿納入

- (1) 広告申込締切 令和5年6月30日(金)までに、事務局まで郵送もしくはメールで「広告掲載申込書」をお送りください。
- (2) 広告原稿締切 令和5年7月14日(金)までに、完全版下データもしくはPDFデータを、事務局に納品してください。なお、広告の配置につきましては事務局に一任願います。

広告の種類	掲載費（税込み）	募集数
抄録集（表2）	60,000-	1口
抄録集（表3）	60,000-	1口
抄録集（表3）	100,000-	1口
抄録集（1pカラー）	50,000-	4口
抄録集（1p白黒）	30,000-	4口
抄録集（1/2p白黒）	20,000-	4口
抄録集（1/4p白黒）	10,000-	8口

3. お支払いについて

「広告掲載申込書」確認後、広告掲載枠が決定次第、請求書を送付いたしますので、指定期日までに指定口座にお振り込みください。なお、振込手数料は申込企業様にてご負担をお願い致します。

なお、お申込後のキャンセルは、原則として受け付けませんので、あわせてご了承ください。

※領収書は、銀行発行の振込控えをもって代えさせていただきます。別途、領収書が必要な場合はご連絡ください。

【お申込み、お問合せ先】

(大崎事務局) コミュニティハウスはるか未来館 内

担当：大石春美

住所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波6-30-12 FAX 0229-25-5812

仙台大会実行委員会メールアドレス jshh30.sendai@gmail.com

お問い合わせは TEL 0229-25-5811 (副実行委員長 大石春美)

展示出展募集要項

1. 出展対象

医療、福祉および、それらに関わる機器・製品等
但し、医療用医薬品など広告宣伝の規制対象となるものは除く

2. 展示出展概要

展示会日程（予定）

搬入日時： 10月28日(土) 10:00～12:30

展示期間： 10月28日(土) 12:30～18:00

10月29日(日) 9:00～15:00

搬出日時： 10月29日(日) 15:00～16:00

※大会プログラムにより時間変更する場合があります。

3. 出展料

基礎小間 50,000円（税込）/小間

小間サイズ： 間口1,800mm×奥行900mm×高さ2,100mm（1小間）

※バックパネル、展示台、白布、社名板等は出展社様にてご準備願います。

4. 募集小間数

基礎小間 6小間

5. 小間割

展示申込を受付後、出品の種類、形状、ブース数等を考慮の上、主催者で小間割を決定させていただきます。

6. 出展社へのご案内

説明会は行いませんので、あらかじめご了承ください。1ヶ月前頃に、小間割、搬入、装飾、管理などについて詳細をご連絡いたします。

7. 電気

電力をご使用の場合、基礎元気幹線工事及び消費電気料金は出展社様のご負担でお願いいたします。

8. その他

各出展物の管理は出展社が自ら行うものとし、展示期間中の出展物の盗難・紛失・

災害等の損害に対して、主催者は補償などの責任を一切負いませんので、ご了承ください。

9. 申込方法

別紙「展示出展申込書」に必要事項を明記の上、下記事務局までご提出ください。
申込締切： 令和5年6月30日(金)

10. お支払いについて

「展示出展申込書」確認後、展示小間割が決定次第、請求書を送付いたしますので、指定期日までに指定口座にお振り込みください。なお、振込手数料は申込企業様にてご負担をお願い致します。

なお、お申込後のキャンセルは、原則として受け付けませんので、あわせてご了承ください。

※領収書は、銀行発行の振込控えをもって代えさせていただきます。別途、領収書が必要な場合はご連絡ください。

【お申込み、お問合せ先】

(大崎事務局) コミュニティハウスはるか未来館 内

担当：大石春美

住所 〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波6-30-12 FAX 0229-25-5812

仙台大会実行委員会メールアドレス jshh30.sendai@gmail.com

お問い合わせは TEL 0229-25-5811 (副実行委員長 大石春美)

FAX 送信先 0229-25-5812

申込み期限：令和5年6月30日(金)

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会 仙台大会 大崎事務局 宛

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会
協賛金寄付申込書

申込日 令和 年 月 日

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会 仙台大会
大会長 谷山 洋三 殿

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会の趣旨に賛同し、下記の金額を寄付いたします。

金 円也

送金日	令和 年 月 日 (予定・済み)
貴社名	
ご住所	〒
ご担当者	御氏名
	ご所属部署名
	TEL FAX
	e-mail

お振込み先 銀行名：東北銀行 南古川支店 口座番号：普通 5028954
口座名義：日本ホスピス在宅ケア研究会 仙台大会

FAX 送信先 0229-25-5812

申込み期限：令和5年6月30日(金)

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会 仙台大会 大崎事務局 宛

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会
抄録集広告申込書

申込日 令和 年 月 日

送金日	令和 年 月 日 (予定・済み)
貴社名	
ご住所	〒
ご担当者	御氏名
	ご所属部署名
	TEL FAX
	e-mail

◆ご希望の種類の所に○をお付けください。

	広告の種類	掲載費(税込)	募集数
	抄録集(表2)	60,000-	1口
	抄録集(表3)	60,000-	1口
	抄録集(表4)	100,000-	1口
	抄録集(IPカラー)	50,000-	4口
	抄録集(IP白黒)	30,000-	4口
	抄録集(1/2P白黒)	20,000-	4口
	抄録集(1/4P白黒)	10,000-	8口

FAX 送信先 0229-25-5812

申込み期限：令和5年6月30日(金)

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会 仙台大会 大崎事務局 宛

第30回日本ホスピス・在宅ケア研究会仙台大会
出展展示申込書

申込日 令和 年 月 日

送金日	令和 年 月 日 (予定・済み)
貴社名	
ご住所	〒
ご担当者	御氏名
	ご所属部署名
	TEL FAX
	e-mail

◆ご希望の小間数 ()

◆主な展示品目をご記入ください。

展示品目	サイズ (W×D×H) m / m ²	重量 kg

◆電力ご使用の有無 (有 無)